

# 令和5年度 小学校外国語教育推進協議会

令和5年4月13日(木)

義務教育課



# 本日の説明

- (1) 国の動向
- (2) 県の動向
- (3) 小学校外国語教育の加配について
- (4) 専科サポートの実践事例紹介

小・中・高等学校を通じた  
英語教育強化事業  
(令和5年度:国)

## 背景・課題

小・中・高等学校と一貫した英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、英語教育を抜本的に強化した学習指導要領を令和2年度から順次実施中。小学校での英語教育の大幅な充実や中学校・高等学校における生徒の発信力（話す・書く力）の強化といった、今回の改革を着実に実施し、英語教育の改善・充実のための持続可能なPDCAサイクルを確立するため、英語教育実施状況調査等で明らかになった課題の解決に向けた取組や、指導力強化のための取組等の推進が必要。

## 事業内容

### ◆ 指導体制の強化

#### 免許法認定講習の開設等 専門人材育成・確保事業 42百万円

<委託先> 国立大学法人、学校法人、都道府県・指定都市教育委員会、  
 専門機関等  
 <箇所数> 18箇所程度

<小学校に関する取組例>  
 小学校教師等が中学校教諭免許状（英語）  
 を取得するための免許法認定講習（H28～）

大学と教育委員会が連携し、  
 小学校英語専科教員として指導ができる  
 人材育成講習

<小・中・高等学校に関する取組例>  
 特別免許状等を利用した人材活用  
 （ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な人材等）  
 ための講習

外国語指導助手（ALT）等を対象とした  
 資質・能力向上のための講習等

英語以外の外国語における専門性の高い  
 外国語指導者の養成・確保のための  
 講習や教材開発等

#### 連携重点施 策

#### 英語専科教員の加配措置（3,000人）

小学校英語教育の早期化・教科化に伴う専科指導に必要な教師の充実  
 ※上記に加え、小学校高学年の教科担任制推進のための加配措置により更に取組を充実

### ◆ 指導力向上及び条件整備

#### 英語教育改善プラン推進事業 94百万円

✓ 都道府県教育委員会等が策定している「英語教育改善プラン」の取組の中で、英語教育実施状況調査等で明らかになっている課題への対応や、ICT機器を活用した指導方法の開発等を支援する。

また、取組内容を公表し、成果物の活用を促進することにより、全国的な英語教育の改善・充実を図る。（R3～）

✓ 各種調査等の結果も含めた成果分析を行い、EBPMによるPDCAサイクルを促進するとともに、国として効果的な取組等を普及する。

<委託先> 都道府県・指定都市教育委員会（成果検証は研究機関等）  
 <箇所数・単価> 9箇所程度、850万円程度/箇所

#### 英語教育実施状況調査等で明らかになっている課題の例

- 発信力（話すこと・書くこと）強化
- 言語活動の充実
- パフォーマンス評価等の効果的な実施
- 中学・高校における英語での授業
- ICT機器の効果的な活用



#### 新たな外国語教育に対応した条件整備・情報発信事業 163百万円

小学校外国語活動教材「Let's Try!」の配布。（R1～）  
 小・中・高等学校の授業事例等の映像資料を作成。

### ◆ 指導力等強化のための実証研究

#### 先導的なオンライン研修実証 研究事業 55百万円

専門的な自己研鑽の機会の地域間格差の解消やコロナ禍においても教師が学び続ける機会の確保に向けて、オンライン研修プログラムの実証研究を行う。また、実証研究を踏まえて、各都道府県教育委員会等が良質なオンライン研修を提供できるよう支援する。

#### ◆ 中・高等学校教員プログラム（R1～）

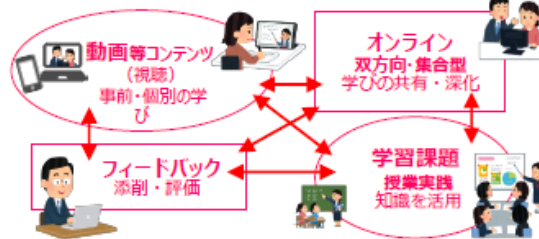
国内にいながら、英語による海外の大学等の授業受講を可能とし、英語で専門的な授業を受ける体験を、実際の授業とリンクさせ指導力を向上。

#### ◆ 小学校教員プログラム（R2～）

指導に必要な英語を学びながら、実際に授業で活用することを通して、英語力と指導力を向上。

※参加自治体・教師等については委託先決定後公募。

#### #働き方改革 #地域間格差解消 #指導力向上



## 我が国の教育をめぐる現状・課題・展望

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

## 【社会の現状や変化】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大
- ・ロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化
- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・DXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・共生社会・社会的包摂
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・18歳成年・子ども基本法 等

## 第3期計画期間中の成果

- ・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善
- ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、連携・統合のための体制整備
- ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や耐震化 等

## 第3期計画期間中の課題

- ・コロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞
- ・不登校・いじめ重大事態等の増加
- ・学校の長時間勤務や教師不足
- ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化
- ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷
- ・博士課程進学率の低さ 等

## 次期計画のコンセプト

## 2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- ・将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく
- ・社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上等による、活力ある社会の実現に向けて「人への投資」が必要
- ・Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

## 日本社会に根差したウェルビーイング（※）の向上

- ・多様な個人それぞれの幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるための教育の在り方
- ・幸福感、学校や地域でのつながり、利他性、協働性、自己肯定感、自己実現等が含まれ、協調的要素と獲得的要素を調和的・一体的に育む
- ・日本発の調和と協調（Balance and Harmony）に基づくウェルビーイングを発信

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

## 今後の教育政策に関する基本的な方針

## グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・主体的に社会の形成に参画、持続的社会的発展に寄与
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、大学教育の質保証
- ・探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・グローバル化の中で留学等国际交流や大学等国际化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・リカレント教育を通じた高度人材育成

## 誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・子供が抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による多様な教育ニーズへの対応
  - ・支援を必要とする子供の長所・強みに着目する視点の重視、地域社会の国際化への対応、多様性、公平・公正、包摂性（DE&I）ある共生社会の実現に向けた教育を推進
  - ・ICT等の活用による学び・交流機会、アクセシビリティの向上
- 人生100年時代に複線化する生涯にわたって学び続ける学習者

## 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ・持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手となる

## 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

DXに至る3段階（電子化→最適化→新たな価値（DX））において、第3段階を見据えた、第1段階から第2段階への移行の着実な推進

GIGAスクール構想、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、DX人材の育成等を推進

教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進

デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

## 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

指導体制・ICT環境等の整備、学校における働き方改革の更なる推進、経済的・地理的状況によらない学びの確保

NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保

各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

# 国の次期教育振興基本計画

今後の教育政策の基本的な方針

グローバル化する社会の持続的な  
発展に向けて学び続ける人材の育成



**外国語教育の充実**

# 国の次期教育振興基本計画

2023年度～2027年度までの5年間

中学校卒業段階で**英検 3級**相当以上

高校卒業段階で**英検準2級**相当以上



**6割以上**

# 英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けて（アクションプラン）

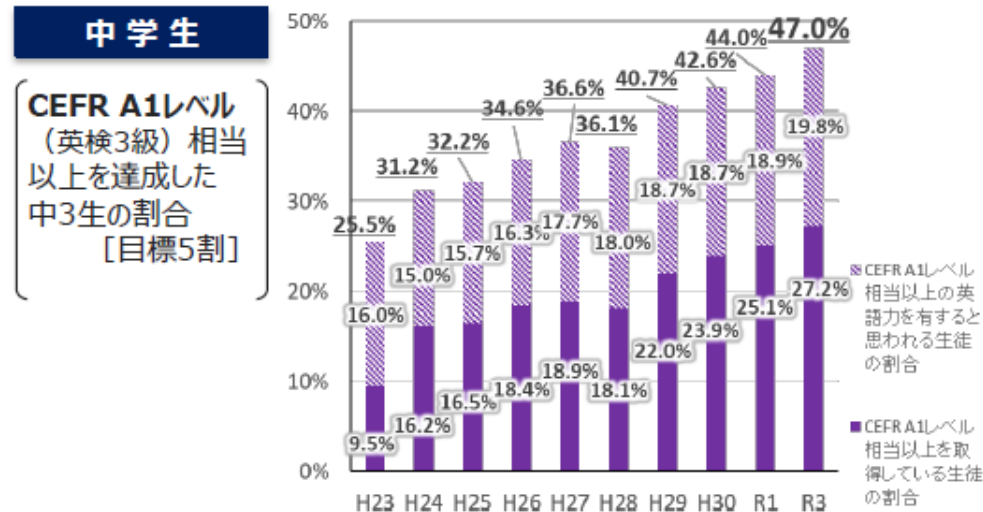
「グローバル化する中で世界と向き合うことが求められている我が国においては、自国や他国の言語や文化を理解し、日本人としての美德やよさを生かしグローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力の育成が求められている。」

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（平成28年12月21日中央教育審議会答申）

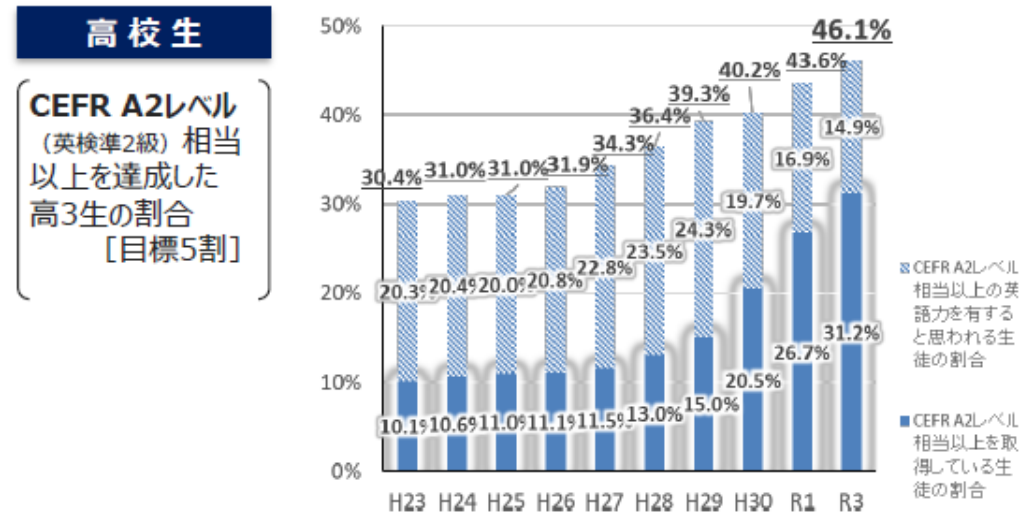
しかし、様々なデータから、英語力や対外発信に関する課題が示されている

## 関係データ①

✓中学生・高校生の英語力は年々着実に向上するも第3期教育振興基本計画（～R4年度）の目標値は未達。地域差も顕著。



※全都道府県・政令市のうち20の自治体が「5割」の目標を達成（最高：85.8%）  
一方、12の自治体で4割を下回る結果（最低：31.9%）



※全都道府県のうち8都県が「5割」の目標を達成（最高：59.6%）  
一方、4県で4割を下回る結果（最低：36.3%）



# 小学校外国語教育の推進に向けて

子供たちに自信を育む授業

英語で自分の考えを伝えることに  
喜びを実感する授業



**誰一人取り残さない教育の実現を目指して**

# 国の次期教育振興基本計画

誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育を推進する。

個別最適・協働的な学びの一体的充実

支援を必要とする子供の長所、強みに着目する視点を重視する。

# 学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む  
「**社会に開かれた教育課程**」の実現

何を学ぶか

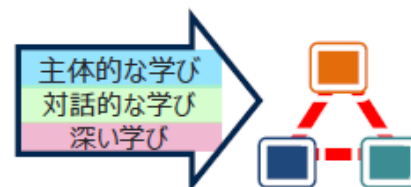
新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など  
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す  
学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「**アクティブ・ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成  
知識の量を削減せず、質の高い理解を  
図るための学習過程の質的改善



学びに向かう力  
人間性等

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか  
何ができるか

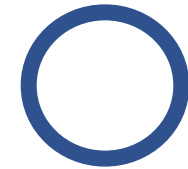
知識・技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

# 育成すべき資質・能力

学んだことを  
社会に生かそうとする



学びに向かう力  
人間性等

実際の社会や生活で  
生きて働く

**知識及び技能**

未知の状況にも  
対応できる

**思考力・判断力  
表現力 等**

学習の基盤となる資質・能力

言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力 等

# ①外国語活動・外国語科 学校段階別・「3つの柱」別の一覧

	小学校中学年 	小学校高学年 	中学校 	高等学校 
学校段階ごとの違い（主なもの） 共通の記載	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
知識・技能	(1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力	(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
学びに向かう力・人間性	(3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

# 学びに向かう力・人間性

外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深める

相手・他者に配慮する

自ら主体的に英語を使って  
コミュニケーションを図ろうとする  
態度を養う

# 県の動向



# 本県の取組

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外国語専科加配校	38校	42校	45校
外国語教育実践加配校	9校	9校	9校

外国語専科加配校

令和元年度：19校

令和2年度：31校

# 小学校外国語教育の動向について

## 国の動向

- 2020年度から新しい英語教育が始まった小学校における質の高い指導体制の充実
- 学習指導要領改訂における新たな小学校外国語教育に対応し、**質の高い英語教育を行うことのできる専科指導教員**を確保し、専科加配については、**外国語に係る授業を単独で指導するものとして実施する。**

## 本県の課題

- 小学校外国語専科加配について、国は質の高い英語力を備えた人材の配置を求めており、学級担任の指導力向上とともに、課題がある。
- 本県では、**全ての学校に小学校外国語専科加配を配置することが困難**であるため、学級担任の指導力向上が急務である。

## R4における本県の取組

### 専科指導の充実

- 専科指導の充実に向けた条件整備を進めるとともに、**小学校外国語専科加配校を42校に配置**し、専門性を生かした教育を推進してきた。

### 学級担任の指導力の向上

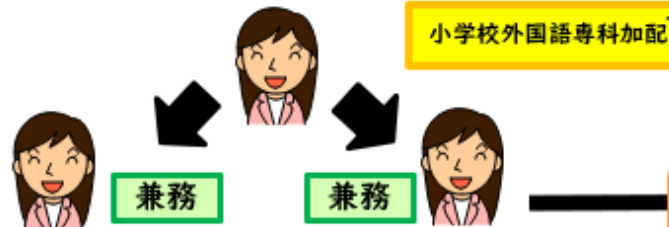
- 研修を充実させるとともに、**小学校外国語教育実践加配校を9校に配置**し、指導方法の研究や評価の実際についての研修を行い、その普及に努めてきた。

### 【専科指導の充実：小学校外国語専科加配】

- 国の要件を満たす教員による専科指導
- 専科指導の充実に向けた条件整備

**改**

拠点校を42校から**45校**へ



### 【学級担任の指導力向上：小学校外国語教育実践加配】

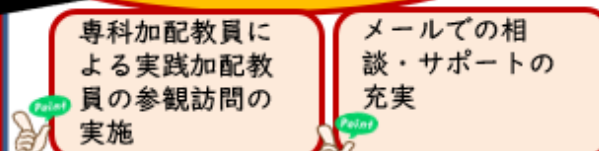
- 研修の実施、推進校での指導方法の開発、普及
- 学級担任の指導力向上の支援

サポート体制の  
充実

**強化**

小学校外国語教育実践加配

**9校**



将来的には・・・

学級担任の指導力向上の支援

# 小学校における外国語教育の指導体制の充実

## 新学習指導要領全面実施に向けた取組

小学校外国語教育の特性を踏まえ、各学校の実態に応じて、学級担任による指導と一定の英語力を有した教員による専科指導を両輪として活かす。専科加配を効果的に活用するとともに、英語教育推進リーダーや中核教員を中心に、校内研修や授業準備等を推進。

## 中期的な方向性

小学校教員全体の外国語指導力の向上を図るとともに、専科指導を担当できる一定の英語力を有し、より質の高い英語教育を行うことができる人材の採用も計画的に進める

## 小学校の外国語教育の特性を踏まえた質の高い授業の実施

- 英語による言語活動を通じた指導
- 音声中心の学習から段階的に読むこと、書くことにも慣れ親しむ
- 中学校への円滑な接続
- 国語や我が国の文化についても理解
- 児童の不安を取り除き、失敗を恐れない雰囲気づくり
- 各教科等の学習との関連付けなど



# 小学校外国語教育の加配について

# 小学校外国語教育に係る加配

- (1) 小学校外国語教育実践加配  
(以下「実践教員」)
- (2) 小学校外国語専科加配  
(以下「専科教員」)

# 小学校外国語教育実践加配の目的

- (1) 外国語教育の指導方法の研究
- (2) 研究成果の普及
- (3) 学級担任の専門性と指導力向上を支援

# 小学校外国語教育実践加配の方針

方針（３）学級担任を充てることができない

方針（４）ティームティーチングで指導を行う

方針（５）配置校以外に、１校から２校の学校を兼務

方針（６）県又は市町村教育委員会が主催する研修会の講師を務めるなど、県全体の外国語教育の推進に関する業務を担当する

方針（７）授業は、兼務校を含め週当たり２０時間程度

# 小学校外国語専科の目的

専科指導の在り方を研究



外国語教育の充実を図る



# 小学校外国語専科加配の方針

- 方針 (2) 単独での指導
- 方針 (3) 学級担任を充てることができない
- 方針 (4) 授業は、兼務校を含め週当たり 20 時間程度
- 方針 (5) 配置校での授業時数が、規定に満たない場合は、複数の学校を兼務して指導する。

# 小学校外国語専科加配の具体的な方策

- ・ 拠点校、兼務校の中学年、高学年の授業
- ・ 外国語教育の指導方法の研究

近隣の学校や、地区の外国語教育部会から支援を求められた場合は、校長の判断により、専科教員による授業の提供、情報提供が可能



実践教員の授業を参観し、アドバイスを受け、拠点校や兼務校での外国語教育に関する指導力向上を図るなど、実践教員との連携が重要となる。

# 小学校外国語専科加配に係る留意点

- ① 配置校と兼務校の校長は連絡を取り合い、
- ② 専科教員の活用についての共通理解を図ること。

加配の趣旨等が  
理解されるよう、  
職員に説明

保護者・職員・  
児童への紹介

# 小学校外国語専科加配に係る留意点

- ⑤ 児童理解に基づいた指導が行われるよう、学級担任と専科教員が、年度はじめに児童の学習状況等についての情報交換を行う場をもつこと。

学期はじめは、学級担任とのTTや、学級担任が学級にいる状態での授業を進めること。

# 小学校外国語専科加配に係る留意点

- ⑥ 兼務校の校長は、専科教員が教材研究等を行うことができる居場所を確保すること。
- ⑦ 兼務校の校長は、専科教員が使用する教材づくりに必要な消耗品や、教材等の保管場所を確保すること。

# 専科教員と実践教員との連携

実践教員は、管内の「小学校外国語専科教員」に授業を積極的に公開したり、「小学校外国語専科教員」の研究推進のための情報提供や、支援・助言を行ったりするなど、「小学校外国語専科教員配置校」での外国語教育に関する指導力の向上が図れるよう、「小学校外国語専科教員」と連携をとる。

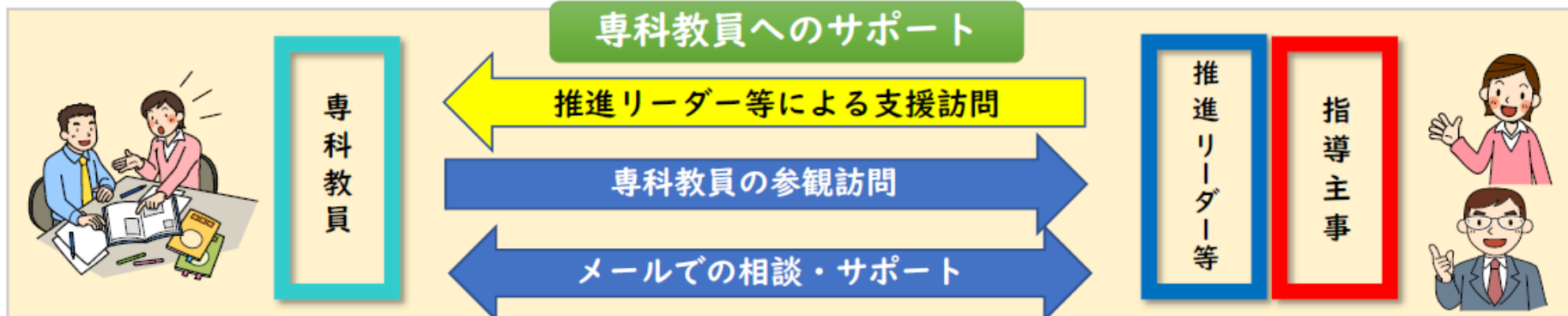
# 小学校外国語専科加配に係る留意点

専科教員は、各地域における「小学校外国語教育実践加配校」の「英語教育推進リーダー等」と連携を図り、外国語教育に関する指導力の向上を図られるように努めること。

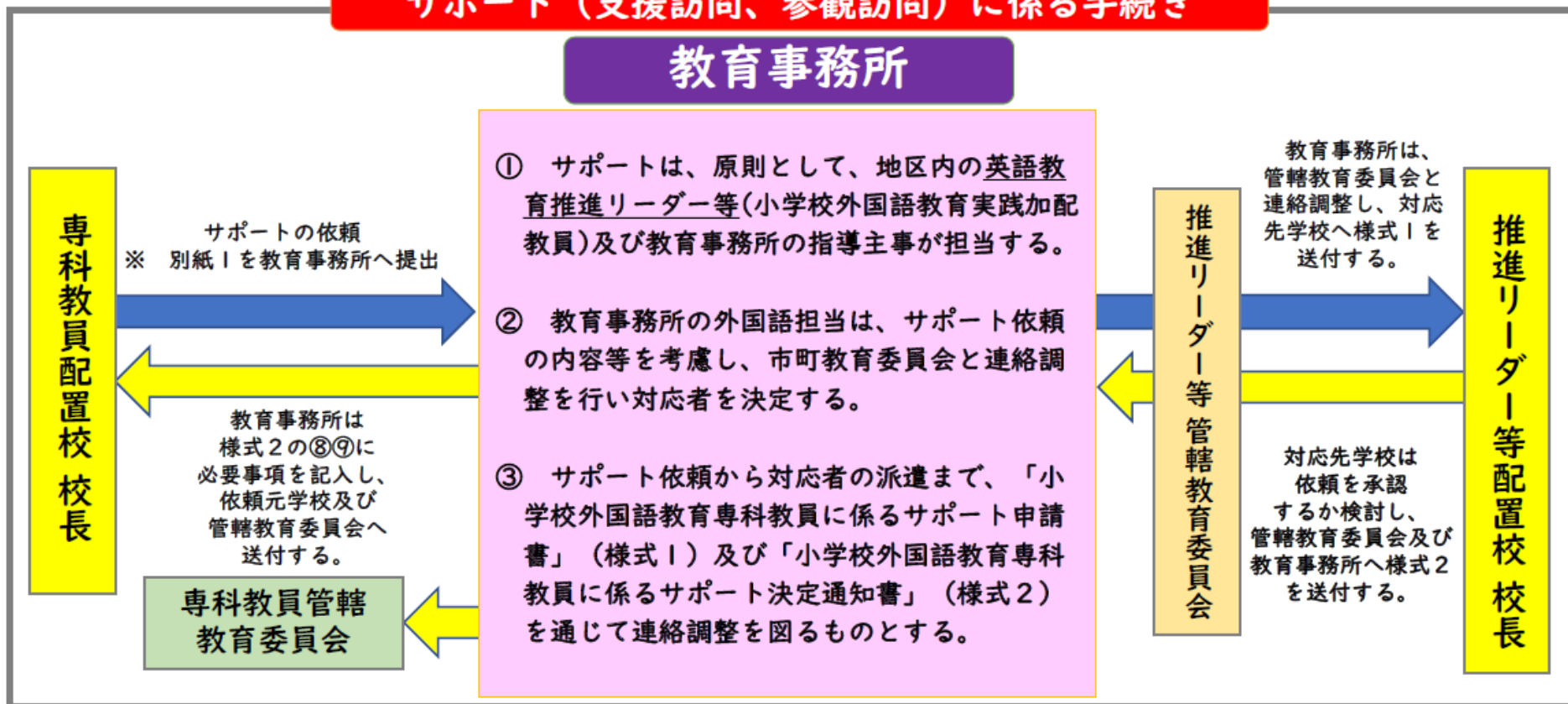


- ・ 専科教員は、必要に応じて、各教育事務所の指導主事等により、授業研究や指導方法に関する助言を受けることができる。
- ・ 専科教員へのサポートは、地区内の「英語教育推進リーダー等」及び教育事務所の指導主事等が担当する。

# 小学校外国語専科教員に係るサポート体制



## サポート（支援訪問、参観訪問）に係る手続き





(様式1)

小学校外国語専科教員に係るサポート申請書  
メール送信票 (鑑不要)

① 依頼元校長名	校長氏名 ( )		
② 学校名 (TEL・Mail)	学校名 ( )	TEL ( )	Mail ( )
③ 研修サポート名 ※いずれかに○	推進リーダー等による支援訪問 ( ) 専科教員の参観訪問 ( )		
④ サポート希望期日		希望日	時間
	第1希望	月 日 ( )	
	第2希望	月 日 ( )	
	第3希望	月 日 ( )	
⑤ 専科教員 氏名			
⑥ 希望するサポート内容			

メール



当該教育事務所外国語教育担当指導主事

メール



⑦ 対応先教育委員会 ( ) 教育委員会教育長	⑧ 対応先学校等名 ( ) 対応先校長等氏名 ( )
----------------------------	-------------------------------

(様式2)

小学校外国語専科教員に係るサポート決定通知書  
メール送信票 (鑑不要)

① 対応先校長等名	校長等氏名 ( )
② 対応先学校等名 (TEL・Mail)	学校等名 ( ) TEL ( ) Mail ( )
③ 期 日	月 日 ( )
④ 研修サポート名 ※いずれかに○	推進リーダー等による支援訪問 ( ) 専科教員の参観訪問 ( )
⑤ 時 間	
⑥ 対応者 氏名	
⑦ サポート内容等	



メール

対応先学校を管轄する教育委員会

当該教育事務所外国語教育担当指導主事

メール



⑧ 依頼元教育委員会 ( ) 教育委員会教育長	⑨ 依頼元学校名 ( ) 校長氏名 ( )
----------------------------	--------------------------

# 小学校外国語専科教員に係るサポートについて

校長の了承があれば、専科教員同士の授業参観等も認めるが、旅費については学校内配分旅費とする。

また、サポート申請の必要はない。

# 専科サポートの実践事例紹介

# 小学校外国語専科教員に係る サポート活用と実際



延岡市立旭小学校

長谷寛子

# R4年度のサポート



## R4年度

- ☆ 推進リーダーによる支援訪問
- ☆ 専科教員による参観訪問
  - ・ 個別の参観訪問
  - ・ 複数専科教員の参観訪問
- ☆ メール等での相談・サポート
- ☆ 動画作成

# サポートの実際



## 延岡市の外国語専科教員

専科教員 6名

- ・ 4名がR4年度から外国語専科



校内に一人と  
いう孤独感...

これであってる？  
不安...

こわいけど  
見てほしい...



他の先生の  
授業を見て  
勉強したい

専科教員へのサポート

推進リーダー等による支援訪問

専科教員の参観訪問

メールでの相談・サポート

専科教員

推進リーダー等

指導主事

専科教員へのサポート

推進リーダー等による支援訪問

専科教員の参観訪問

メールでの相談・サポート

専科教員

推進リーダー等

指導主事

## 個別の参観訪問

- 事前
  - ・ 参観したい学年、単元
  - ・ 悩んでいること、知りたいこと
- 授業後
  - ・ 授業のポイント
  - ・ 各活動の意図 等
  - ・ 協議

## 複数の専科教員の参観訪問

複数の専科教員が授業を参観

○授業づくりに関する協議

○ふだんの悩み

- ・授業に関すること
- ・外国語専科ならではの…

仲間がいること  
の安心感



専科教員へのサポート

推進リーダー等による支援訪問

専科教員の参観訪問

メールでの相談・サポート

専科教員

推進リーダー等

指導主事

# 動画作成



What season do you like?

I like summer.



## QUESTION

5年生

① ② ③ ④ ⑤

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

## ANSWER 例

ALTの先生たちのように  
答えられるかな？

① ② ③ ④ ⑤

A ⑥ B C ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

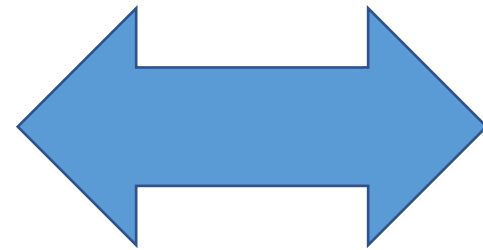
QUESTION ANSWER BRONZE SILVER GOLD





# 外国語専科教員と実践加配教員との連携

専科教員



実践教員

# チームみやぎき外国語

私たちは、仲間。  
同じチームの一員です。  
仲間が困っているときは、  
みんなで支え合いましょう！

誰一人取り残さない教育の実現と  
子供たちの幸せな未来のために・・・

